

## V 本計画における基本的な方針と取り組みの方向性

大崎市の現状における課題とまちづくり、大崎市地域公共交通網形成計画(前計画)が目指した姿を踏まえ、以下を大崎市の地域公共交通の取り組みの基本理念（目指す姿）及び基本方針とします。

### ●基本理念（目指す姿）

大崎市の地域公共交通の基本理念を以下とします。本計画の基礎調査で見出された課題等は、概ね前計画の基本方針に合致しており、現在も課題として残っている状況です。本計画では、前計画の基本理念を踏まえるとともに、現状の課題・着眼点を反映し、今後の方針や取り組みの方向性を決めました。

**「人」と「まち」・「暮らし」をつなぐ公共交通**

### ●基本方針

基本理念の実現に向け、本市の地域公共交通は、以下の4つを基本方針として、取り組みを行っていきます。

#### **基本方針1 暮らしとまちづくりを支える交通サービスの確保、将来にわたる持続を目指す**

各地域における日々の暮らし（外出）を支えるとともに、拠点を活かした都市づくりと連携する交通サービスを確保し、将来にわたって持続していくことを目指します。

#### **基本方針2 拠点の機能や案内の充実を目指す**

市中心部と各地域をつなぐネットワークの中で、市中心部の拠点、各地域の拠点、主要施設等の利便性、乗り場の案内など現地での分かりやすさの向上を目指します。

#### **基本方針3 全体の分かりやすさ・使いやすさの向上と、市民意識の醸成を目指す**

外出手段を考える際の市内の公共交通全体を分かりやすく、また使いやすくし、抵抗感軽減を図るだけでなく、市民等の公共交通に対する意識の醸成、過度なクルマ利用の見直しを目指します。

#### **基本方針4 まちのにぎわいへの貢献を目指す**

公共交通による本市への来訪、市民の公共交通による外出、市内での“公共交通＋歩く”による回遊等を促すことにより、本市のまちづくりと連携した、まちなかのにぎわい創出を目指します。